平成２３年度重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

高 岡 市 立 戸 出 西 部 小 学 校

具体的な達成目標

重点目標	**子どもが元気、先生が元気、明るい挨拶の飛び交う学校**
達成目標	**考えをもって、大きな声で話す子ども……８０％**

前年度

昨年度は、「聴く力」「話す力」を身に付けた子ども、進んで「あいさつ」する子どもの育成に重点を置き取り組んだ。その結果、子どもの自己評価においては、聴く力は９１％、話す力は８０％と目標である８０％以上を達成した。聴く力は定着しつつあるが、話す力は、発表する声が小さく、まだ高まっているとはいえない。

そこで、本年度は、意欲的に学習に取り組めるよう、自分の考えを「書く力」と「話す力」に重点を置き、学び合いの基盤を育てたい。

考えをもって、大きな声で話す子

行動Ⅰ

○書く活動の充実
①テーマと字数を決めて１０分間で考えを書く「言葉タイム」の実施（毎週金曜日）
②体験活動を積極的に導入し、書く活動につなげる
③子どもが書いた優れたノートや活動を紹介したり掲示板等で広めたりして、どのように書いたらよいかを見て学ぶことができる場の設定

○話し方「あいうえお」の定着
①ペア学習等でどの子も話す機会を多く設定
②音読指導等の徹底
③朗読、詩や俳句の暗唱や音読等をする「音読タイム」（朝活動；毎週金曜日）の実施
④話す力育成のための教員研修

評価

中間評価（１学期末）
・教職員・児童・保護者による自己評価
・学校評議員による学校関係者評価
・評価結果の公開方法……学校だより、学校評議員会、ホームページ

行動Ⅱ

書く活動の充実
①～③の継続

話し方「あいうえお」
①～④の継続

年度末評価

年度末評価（２学期末）
・教職員・児童・保護者による自己評価
・学校評議員による学校関係者評価
・評価結果の公開方法……学校だより、学校評議員会、ホームページ

次年度

年度末評価結果から児童の実態を見直し、身に付けさせたい力を見極め、次年度の重点目標に生かす。（２月）